

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029



いつもお世話になっている
みなさんへ心を込めて...❤

津波小

感謝会



2月27日（金）、津波小学校において、感謝会が行われました。津波小では、読み聞かせや畑作業、三線教室や踊りなど様々な活動で、地域の方々にお世話になっており、様々な場面で交流が行われています。

感謝会では児童代表の神里凜々さんが「私たちは多くの方々に支えられていることに感謝して、感謝の気持ちを忘れずに、これからも色々なことを頑張っていきたいです。」と感謝の言葉を伝え、この日訪れた方々一人一人に、児童たちから感謝の気持ちを込めたメッセージアルバムとジャガイモ（2月に収穫、あじま〜3月号に掲載）を手渡しました。感謝会後には津波小お手製のカレーライス（もちろん津波小産ジャガイモも入り♪）も振る舞われ、会場は楽しい会話と美味しい笑顔に包まれました。

このジャガイモは、給食センターにも約20キロ贈呈され、給食センター所長の瑞慶山真吾さんは「3月の給食のメニューで使わせてもらいます。おいしく食べさせていただきます。」と話しました。

みなさん、気づいていましたか？給食で出た飛びっきりおいしいジャガイモ。実は津波小産のジャガイモだったのですよ。



村内のホットな活動をご紹介♪

大宜味人のホットする話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま〜」担当：倉持までご連絡ください。

「あっぱれ！大宜味小中学校職員！！」

3月7日（土）、名護中学校体育館において、毎年恒例の国頭地区教職員バスケットボール大会（第21回大会）が開催されました。

前年度優勝した東村連に勝ち、羽地中には惜敗しましたが…、見事準優勝となりました。今回の大会で2度目の準優勝となります。ちなみに平成17年度には優勝、25年度には3位入賞となっています（^o^）。今大会も中体連に劣らぬほどに盛り上がる大会となりました。

大宜味連合はキャプテンの大城貴勢先生が本領発揮し、大活躍。また、助っ人として参加してくれた大宜味小の伊差川邦彦先生、塩屋小の新里まどか先生、教職員以外にも崎村憲壮さん（昨年度大宜味中教育実習生）、多和田誠也さん（大宜味中男子バスケット部コーチ）の活躍も光りました。狩俣智史先生は会長賞獲得。本部役員の仲村資剛先生、末吉理香先生、仲村渠彩先生も審判として活躍しました。



貴勢先生のコメント

「他校の先生方や大宜味中バスケットボール部と何度か対戦し、練習を頑張った甲斐があり、バスケットボールを通して、職員間の雰囲気もさらに良くなったように感じます。初めての参加で、又キャプテンを任されて四苦八苦する時もありましたが、神山英輝校長先生をはじめ全職員が参加したお陰と、本大会の会長吉田春子先生の協力もあり無事に終わることが出来ました。」

来年は優勝の二文字を目標に頑張れ大宜味連合！！

なお、この大会は第1回大会から21回大会まで加盟校24校（混合チームもあるため、19チーム）全てが参加しています。

吉田春子

走るタネをまいて 喜如嘉小学校安富広子校長先生ラストラン

3月25日（水）、喜如嘉小学校において、安富広子校長先生最後の陸上練習が行われました。

足腰を鍛え、すべての運動の基礎となる陸上競技。広子校長先生が赴任してから3年、地域の方々をコーチに早朝の陸上練習が根付いてきました。

この日は、走り幅跳びやボール投げの練習を行った後、コーチも交えた3チームに分かれて3回連続でリレーを行いました。練習終了後には児童とコーチで以前から相談し、サプライズで校長先生を胴上げ。みんなで感謝の気持ちを伝えました。

広子校長先生は「5人のコーチ、保護者、地域の方々の協力もあり、子ども達に走る習慣が根付いたことがとても嬉しい。とにかくリレーが一番の力になった。」と笑顔で話してくれました。

校長先生がまいた走るタネが根付き、これからも汗いっぱいの喜如嘉小になることを期待しています。



大人になっても忘れない…一つ一つの体験が宝物。

体験の翼報告会

2月27日（金）、村農村環境改善センターにおいて平成26年度体験の翼報告会が行われました。食事や文化も言葉も違う西会津での体験を各学校の代表一人一人がしっかりと報告してくれました。報告の一部を抜粋してご紹介します。団員たちの体験報告から、一人でも多くの児童生徒が西会津との交流に興味を持ち、参加してくれたらと期待しています。

私は、今年体験の翼に参加し、人生で初めての体験を2つしました。

1つ目は、生まれて初めて雪を触ったことです。福島での朝を向かえると、綿のような雪が積もっているのを見て、心が弾み朝早くから雪の上を歩いたり、小さな雪だるまを作ったりしました。～

2つ目は、生まれて初めてスキーをしたことです。柔らかい雪の上でバランスをとりながら滑ることに慣れず、何度も転びました。～しばらくすると滑ることに慣れて、最後は皆でゴンドラに乗り、山の頂上からいっきに滑り降りて、まるで鳥になって空を飛んでいるかのような気持ちでした。



喜小5年 平良日菜多さん



大小6年 島袋智史くん

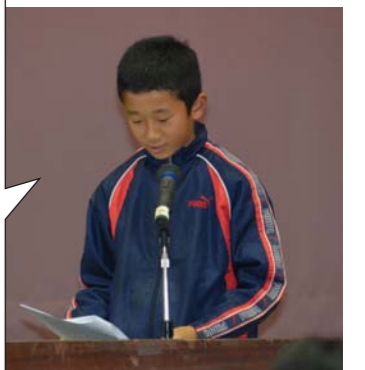
僕は、西会津との交流を通していろいろなことを学びました。

2日目に、朝早起きしてワカサギ釣りに連れて行ってもらいました。湖に着くと、湖の水面が凍っていて驚きました。それで釣りをする穴を専用のドリルを使って開けました。水深は6メートル程だと言っていました。ワカサギ釣りで僕は電動リールのついた竿を使いました。最初の1、2時間は全く釣れなかったけど、4時間やって3匹釣ることができました。しかし慶君や太然君は10匹以上釣っていました。

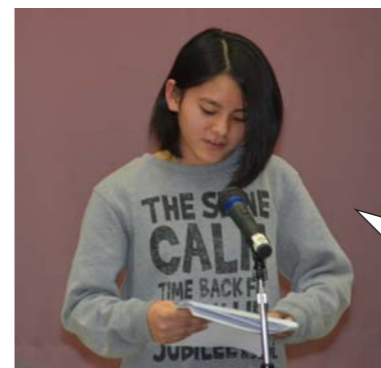
～西会津町についた時は、沖縄の気温よりもすごく寒く、雪もいっぱい積もっており、沖縄と福島ではこんなにも気温に差があるのかと思ひびっくりしました。

次の日は、湖にワカサギ釣りをしに行きました。ワカサギ釣りに行くときは、湖の氷が割れて、湖の中に落ちないか少し心配だったけど、氷はすごく厚かったのが全然平気でした。ワカサギ釣りは氷に穴を開けて、穴の中に糸を垂らしてやりました。最初は難しかったけど、コツがわかれば意外と簡単に釣ることができました。

その後、釣ったワカサギを天ぷらにして食べました。すごくおいしかったし、小さい魚だったのですぐになくなりました。また食べたいです。



塩小6年 名嘉慶くん



津小6年 仲宗根舞さん

私は、この交流を通してたくさんの思い出ができました。

～3日目は雪国まつりでエイサーを踊りました。上手だったと言われ、とても嬉しかったです。

その後は皆で運動会に出たり、スノーモービルに乗ったり、そりで遊んだりしました。雪でたくさん遊ぶことができて嬉しかったし、楽しかったです。

その後はいよいよお別れの時が来てしまいました。バスに乗ったとき、少し寂しいなと思いました。